

ツレサギソウ *Platanthera japonica* (Thunb.) Lindl.

【評価理由】

個体数階級 4、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 3、固有性階級 2、総点 16。愛知県では生育地、個体数ともに極めて少なく、また園芸目的の採取圧も高い。

【形態】

多年生草本。根は太いひも状で水平に伸びる。茎は直立し、高さ 40~60cm になる。葉は互生し、下方の 3~5 枚は大型、葉身は長楕円形で長さ 10~20cm、幅 4~7cm、先端は鋭頭、基部は葉鞘となる。上部の葉は小さくなる。花期は 5~6 月、花は茎の上部の長さ 10~20cm の花序に密につき、白色、苞は線状披針形で花より長い。背がく片は楕円形、長さ 7~8mm、側がく片は斜卵形、側花弁は斜 3 角形で、背がく片に接してかぶと状となる。唇弁は長楕円形で長さ 13~15mm、先端は鈍頭、基部の両側に突起があり、距は長さ 3~4cm で下垂する。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 51245, 1994-5-7)。6・7 設楽と 5 稲武 (絶滅) にもあるという (小林 2006)。2 豊根 (坂宇場, 加藤等次 s.n., 1968-6-23) で採集された標本もある。

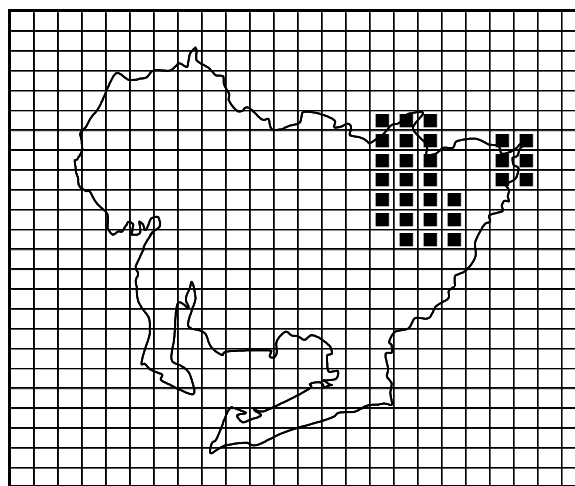
【国内の分布】

北海道南部、本州、四国、九州、琉球。

【世界の分布】

日本、中国大陸。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の草原や林縁に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

少数個体があるだけで、花をつける個体は更に僅かである。生育地は人目につきにくい場所であるが、採取目的の山草愛好家に発見されれば即絶滅の可能性が高い。森林の手入れ不足による消滅も懸念される。

【保全上の留意点】

造林地については、間伐など適切な手入れが必要である。園芸目的の採取やカメラマン、観察者による攪乱を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

和名は、サギソウに似た白花が連れ立って咲くからである。

【引用文献】

小林元男. 2006. 北設楽の植物 p.85, 243. 愛知県林業試験推進協議会, 新城.

【関連文献】

保草本Ⅲp.23, 平草本 I p.196, 平新版 p.221, SOS 旧版 p.114.